御 中

平成　　年　　月　　日

アイカ工業株式会社甚目寺工場
化成品ｶﾝﾊﾟﾆｰ 品質管理ｸﾞﾙｰﾌﾟ
問合わせ先 052-443-4811

ＭＳＤＳ（製品安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のＭＳＤＳを送付させて頂きます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当ＭＳＤＳをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。

尚、誠に恐れ入りますが、ＭＳＤＳを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までＦＡＸにてご返送くださいますよう、併せてお願い申しあげます。

敬具

店所記入欄

店所名：　　担当者：

ご送付日　　平成　　年　　月　　日

ＭＳＤＳ送付先顧客様　　TEL

製 品 名

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画部宛にＦＡＸお願いします。

ＭＳＤＳ受領書

製品名

返送先

アイカ工業株式会社甚目寺工場
生産企画部
FAXNo.052-443-4825

平成　　年　　月　　日

貴社名：　　ご担当部署：　　ご担当者名：　　印

ご住所：　　TEL：

ご記入のうえ切り離さず本紙をそのまま返送先までＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申しあげます。

以下、余白

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

会　　社　アイカ工業株式会社
住　　所　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　052-443-4811　FAX 番号　052-443-4825
緊急連絡先　担当部門に同じ

改訂日　２０１０年　４月　９日
整理番号　：ＤＪＫ－００１５－４　作成日　１９９８年　２月　５日

製品名（化学名，商品名）：ジョリシール ＪＫ－５７（Ｔ－２,Ｔ－４,Ｔ－５,Ｔ－８,ＤＢＲ,ＤＧＲ,ＬＲＯ,ＯＬＧ,ＯＬＯ）

2.危険有害性の要約

GHS分類：

可燃性固体	区分外
発がん性	区分 1A
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分１
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分１

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　危険

・危険有害性情報
発がんのおそれ
長期又は反復暴露による呼吸器系、腎臓、肺の障害

・注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、暴露をさけること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
暴露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
暴露した場合、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
施錠して保管すること。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物
化学名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	CAS№	化審法
ポリアルキルシロキサン	７０～８０	－	(7)-476
オキシムシラン	１～１０	－	
シリカ	１０～２０	－	
ジアルキルスズ化合物	１未満	－	
抗菌防カビ剤	１～５	－	
接着向上剤	１未満	－	
酸化チタン	１～１０	１３４６３－６７－７	(1)-558
顔料	１未満	－	

4.応急措置	目に入った場合：	・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ・直ちに清浄な水で 15 分間以上洗眼し、痛みが残る場合は眼科医の診断を受ける。 ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
	皮膚に付着した場合：	・医師の手当、診断を受けること。 ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ・付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
	吸入した場合：	・医師の手当、診断を受けること。 ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ・吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合：	・医師の手当、診断を受けること。 ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ・無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識が無い場合は口から何を与えてもならない。
5.火災時の措置	消火方法：	・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
	消 火 剤：	水［ ］，二酸化炭素［○］，泡［○］，粉末［○］，乾燥砂［ ］ その他（ ）
	使ってはならない消化剤：	水

6.漏出時の措置		・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。 ・作業の際は必ず保護具を着用する。 ・大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 ・廃棄は「廃棄上の注意」の項による。 ・付近の着火源となる物を速やかに取り除き、消化器材を準備する。
	回収、中和：	・少量の場合は紙，布，砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。 ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。 ・流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。
7.取扱い及び保管上の注意	取扱い：	・火気厳禁。炎，火花，高温体との接触，その他点火源となる恐れのある機械等の使用を禁止する。 ・取り扱い場所及び作業箇所は換気を行い、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕 1～2 時間）を行なう。 ・使用時は目・皮膚等へ接触を避けるため適切な保護具(手袋・長靴・保護マスク等)を着用する。 ・作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服についた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 ・使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。 ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 ・取扱い後はよく手を洗うこと。 ・飲み込みを避けること。 ・皮膚との接触を避けること。 ・排気用の換気を行うこと。 ・接触、吸入又は飲み込まないこと。

保　管：
・貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い「消防法」に従い貯蔵する。
・直射日光を避け、容器を密閉して5～35℃の環境で子供の手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

技術的対策
・保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
・消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
・現場施工要接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
・使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
・河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させない。
・使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

保管条件
・熱、火花、裸火のような着火源から話して保管すること。禁煙。
・施錠して保管すること。

容器包装材料
・消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
・消防法で規定されている容器を使用する。
・包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8.暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

成分名	許容濃度(産衛学会)	ＡＣＧＩＨ
シリカ	－	TWA0．０５ mg／m^3
酸化チタン(Ⅳ)	1mg／m^3(inhalated dusts) 4mg／m^3(total dusts)	TWA１０ mg／m^3

設備対策：
防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
全体・局所排気装置・洗顔器等。

保 護 具：
呼吸用保護具：　必要に応じて保護具を使用すること。
有機ガス用防毒マスクを着用する。
保護眼鏡：　必要に応じて保護具を使用すること。
保護眼鏡を着用する。
保護手袋：　必要に応じて保護具を使用すること。
ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
保 護 衣：　必要に応じて保護具を使用すること。
長袖保護衣等を着用する。
ゴム長靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

外　観：	ペースト状　各色
臭　い：	特異臭
ｐＨ：	データなし
凝固点：	データなし
融　点：	データなし
初留点と沸点範囲：	データなし
引火点：	６３℃（その他）
蒸発速度：	データなし
引火または爆発範囲の上限/下限：	データなし
揮発性：	なし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
密　度：	１．０４ｋｇ／m^3（２３℃）
溶解性：	データなし
オクタノール/水分配係数：	データなし
発火点：	データなし
分解温度：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：　法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。
避けるべき条件：　現在のところ知見なし。

	混色危険物質：	現在のところ知見なし。
	危険有害な分解性生物：	現在のところ知見なし。
11.有害性情報	刺激性（皮膚，眼）：	現在のところ知見なし。
	呼吸器感作性又は皮膚感作性：	現在のところ知見なし。
	生殖細胞変異原性：	現在のところ知見なし。
	発がん性：	現在のところ知見なし。
	生殖毒性：	現在のところ知見なし。
	有害性その他：	水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトンオキシムを発生する。
	急性毒性： （５０%致死量等を含む）	LD_{50}　ラット 抗菌防カビ剤　２，３３０mg／ｋｇ
12.環境影響情報	現在のところ知見なし。 漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。	
13.廃棄上の注意	残余廃棄物：	産業廃棄物[廃油と廃プラスチック類の混合物]として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条令等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。 使用済み容器、ウエス等も同様である。
	汚染容器・包装：	残余廃棄物と同様に処理する。
14.輸送上の注意	国連分類：該当なし　　国連番号：該当なし 「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、可燃性を有しているので火気厳禁。 容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。	
15.適用法令	消防法：	指定可燃物　可燃性固体類
	毒物及び劇物取締法：	非該当
	労働安全衛生法：	第５７条１表示対象物質　非該当 第５７条２通知対象物質　酸化チタン(Ⅳ)，シリカ
	化学物質管理促進法： （ＰＲＴＲ）	非該当
	労働基準局長通達：	非該当
16.その他の情報」	ホルムアルデヒド基準：室内空気質汚染対策のための自主管理規定 ＪＳＩＡ８０１００３　Ｆ☆☆☆☆	

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

・独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)	ＧＨＳ分類結果データベース
・日本ケミカルデータベース株式会社	法規制データベース　ｅｚＣＲＩＣ
・日本ケミカルデータベース株式会社	ケミカルデータベース
・化学物質等の危険有害性等表示制度	労働基準調査会
・化学物質等安全情報の提供について	食品薬品安全センター
・１４９０６の化学製品	化学工業日報社(２００６)
・化学法令集	化学工業日報社(１９９１)